

平成 22年 4 月 6日現在

研究種目：若手研究 (B)  
研究期間： 2007 ~ 2010  
課題番号：19720182  
研究課題名 (和文) 近現代インドにおける歴史記述の変遷

研究課題名 (英文) History Writing in Modern India

#### 研究代表者

井坂 理穂 (ISAKA RIHO)  
東京大学・大学院総合文化研究科・准教授  
研究者番号：70272490

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・東洋史

キーワード：インド史、歴史認識、近代、ナショナリズム、インド文学

#### 1. 研究計画の概要

(1) 本研究は、近現代インドにおいて歴史記述のあり方がどのように変遷したのかを明らかにすることを目的としている。具体的には、インド西部のグジャラート地方の知識人たちが残した代表的な歴史記述を取り上げ、それらを同時代の政治・経済・社会状況と関連づけながら分析する。

(2) 本研究では、対象地域であるインド・グジャラート地方での資料収集・聞き取り調査のほか、関連する資料を所有しているデリー、ムンバイ、ロンドンなどの図書館・文書館での資料収集も行う。また、研究成果を随時、論文や研究報告のかたちで発表する。

#### 2. 研究の進捗状況

(1) これまでの3年間に、イギリスやインドにおける資料収集(聞き取り調査を含む)が順調に進展した。これらの資料の分析を通じて、1930年代から60年代にかけてのグジャラート地方における代表的な歴史記述の特徴が明らかになると同時に、それらの政治・経済・社会的背景についても考察を深めることができた。現在は、さらに他地域との比較の視点を取り入れながら、グジャラート地方の歴史記述と他地域の歴史記述との相違や共通性を明らかにするための準備を進めている。

(2) 資料分析による成果の一部を、複数の学会で発表した。日本南アジア学会のシンポジウム、年次大会などで関連するテーマにつ

いての報告を行ったほか、イギリス、カナダで開催された学会に参加し、独立前後に活躍したグジャラート出身の作家・政治家、K.M. ムンシーの歴史記述に関する報告を行った。これらの発表や学会での議論は、広い視野から本研究のテーマを考察するうえでの貴重な契機となった。また、学会や現地調査を通じて、国内外の多数の研究者と交流を深め、本プロジェクトのみならず、今後、関連したテーマに関して共同研究を組織するための基盤がつけられた。

(3) すでに個々の歴史記述の事例については、論文や研究ノートのかたちで部分的にまとめている(未刊行のものを含む)。今後はこれらを総括し、さらに、筆者が本研究の開始以前に行っていた19世紀における歴史記述の分析とつなげることによって、インドにおける歴史記述の変遷過程を通時的視点からまとめる予定である。

#### 3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。  
(理由)  
資料収集、成果発表ともに、ほぼ予定通りに進んでいる。論文についてはすでに発表したもののほかに、ほぼ執筆を終えた原稿が複数あり、近く刊行が予定されている。地域間の比較という視点に関しては若干、資料収集・分析が遅れているが、この部分については今年度内に補足する予定である。

#### 4. 今後の研究の推進方策

(1) 今年度は本研究の最終年度にあたるため、まず、これまでに収集した資料を整理・分析したうえで、不足している部分の資料を集中的に収集する。このため、10月ごろにインド(デリー、ムンバイ)及びバングラデシュ(ダッカ)で調査を行うことを予定している。バングラデシュでは、南アジアの他地域との比較という観点からの資料収集を行う。本研究の開始以前には、パキスタンでの調査を予定していたが、その後、政治情勢や資料の入手の見通しなどを検討し、パキスタンにかえてバングラデシュを比較対象地域として取り上げることとした。

(2) 今年度後半には、植民地期から独立後にかけてのグジャラート地方における歴史記述の変遷に関して、複数の研究論文(あるいは研究書)の執筆を進める予定である。国内で本研究と関連するテーマを扱っている複数のプロジェクトが進行中であるため、これらとも連携しながら、歴史記述の変遷と政治・経済・社会状況との関連について考察を深め、論文執筆に役立てたいと考えている。

#### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計2件)

Riho Isaka, 'Patronage and Literature in Colonial Gujarat', *International Journal of South Asian Studies*, vol.2, 43-59頁, 2009年、査読有

Riho Isaka, 'Different Meanings of Modernity in Colonial India: The Life and Thoughts of Cornelia Sorabji (1866-1954)', 『Odysseus: 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻紀要』、第13号、15-28頁、2008年、査読無

〔学会発表〕(計5件)

井坂理穂「1950年代のインドにおける言語州問題 グジャラートの成立過程」日本南アジア学会第22回全国大会、北九州市立大学、2009年10月3日、審査有

Riho Isaka, 'Gujaratni Asmita: K.M. Munshi on Gujarat and India', Gujarat Studies Association, 2nd Biennial Conference, Identities: Reflection on Global Gujarati Communities, University of Toronto, 2008年5月23日、審査有

Riho Isaka, 'Defining Gujarat: K.M. Munshi's Writings on the History of Gujarat', *The Idea of Gujarat: History, Ethnography and Text*, SOAS, University

of London, 2008年5月16日、招待

井坂理穂「植民地期インドにおける歴史認識」日本南アジア学会設立20周年記念連続シンポジウム第4回・南アジアにおける近代とは何か、東京大学、2008年4月26日

Riho Isaka, 'Different Meanings of Modernity in Colonial India: The Life and Thoughts of Cornelia Sorabji', *Entangled Paths to Modernity: India, Korea, and Japan in Comparison*, 大阪大学, 2008年2月29日、招待

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕

学会以外の招待講演：

Riho Isaka, 'Cornelia Sorabji and Her Writings', Rita Nagar Desai Memorial Lecture, Gujarat University, 2008年12月23日